

(第1回)契約変更の内容

契約変更年月日	令和8年3月13日
契約業者名	令和7年度鹿児島県内南西諸島の国土強靱化に資する港湾機能検討業務日本港湾コンサルタント・エコー・日本工営設計共同体
契約業者の住所	福岡市博多区博多駅東3丁目14番1号
業務の名称	令和7年度鹿児島県内南西諸島の国土強靱化に資する港湾機能検討業務
業務場所	発注者指定の場所
業務種別	建設コンサルタント等
業務概要 (変更した内容 について記述する)	別紙の通り
工期(自)	令和7年9月8日
工期(至)	令和8年3月18日
変更前の契約金額	19,272,000 円 (税込み)
変更金額	3,652,000 円 (税込み)
変更後の契約金額	22,924,000 円 (税込み)
変更理由	1.現地調査を追加した。 2. フォトモンタージュの作成を追加した。 3. 港内静隠度解析を追加した。 4. 波浪検討ケースの数量が確定した。

## 業務内容

業務名称	業務内容	単位	数量	摘要
鹿児島県内南西諸島の国土強靱化に資する港湾機能検討業務				
計画準備	} 原契約のとおり			
資料収集・整理				
課題の抽出整理				
計画の検討				
	現地踏査	日	1	西之表港
	計画の検討	ケース	3	西之表港(2ルート) 名瀬港(防波堤による対策)
港湾機能検討				
1) 西之表港				
比較構造形式の抽出	比較構造形式の抽出	ケース	4	2ルート×2構造
構造形式の選定	構造形式の選定	ケース	2	2ルート×1構造
図面の作成	図面の作成	枚	4	2ルート×1構造(平面図、標準断面図)
フォトモンタージュ作成	フォトモンタージュの作成	式	1	1ルート
課題への対策検討	港内静穏度解析	ケース	2	施工段階×2ケース
	既設防波堤撤去時の対策検討	ケース	1	防波堤
2) 名瀬港				
} 原契約のとおり				
3) 面縄港				
港外波浪変形計算	港外波浪条件の設定	式	1	
	計算モデルの作成(1)	ケース	1	過年度波浪(1)
	計算モデルの作成(2)	ケース	2	波向(2)
	計算の実施(1)	ケース	1	過年度波浪(1)
	計算の実施(2)	ケース	2	波向(2)×波高(1)×周期(1)
	計算結果の整理(1)	ケース	1	過年度波浪(1)
	計算結果の整理(2)	ケース	2	波向(2)×波高(1)×周期(1)
再現計算(現況港形)	計算条件の設定	式	1	
	計算モデルの作成(1)	ケース	1	過年度波浪(1)
	計算モデルの作成(2)	ケース	2	港形(1)×波向(2)×周期(1)
	計算の実施(1)	ケース	1	過年度波浪(1)
	計算の実施(2)	ケース	2	港形(1)×波向(2)×波高(1)×周期(1)×潮位(1)
	再現性の確認	式	1	
予測計算(将来港形)	対策港形の立案	式	1	
	計算条件の設定	式	1	
	計算モデルの修正	ケース	4	港形(2)×波向(2)×周期(1)
	計算の実施	ケース	4	港形(2)×波向(2)×波高(1)×周期(1)×潮位(1)
	計算結果の整理	ケース	4	港形(2)×波向(2)×波高(1)×周期(1)×潮位(1)
港内静穏度の評価	港内静穏度の評価	ケース	2	港形(2)×岸壁(1)
照査				
} 原契約のとおり				
協議・報告				
成果物				